

人間社会学部 人間スポーツ学科 教育専門分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバリング	科目種別 講義 演習 PBL など	単位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとすか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. ティンプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを応用した指導方法を体系的に身に付けて、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを応用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間のま生生活の中で健康及びスポーツが精神・文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指針者として求められる高い倫理的・創造的・思考力を有している。
教育	教育原理	T-EDU108	100	講義	4	「教育とは何か」に視点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学習する。	1. 教育の理念や目的を理解している。2. 教育の歴史や思想を理解している。3. 学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。	教育の理念、教育の目的、教育の思想、教育の歴史、学校制度、生涯学習		○	○		○	◎
	教育相談	T-EDU109	100	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学修するために、多くの事例を学修する。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないため、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。	教育相談、こころの構造、いじめ、アセスメント、カウンセリング、こころの病理、発達失調、登校拒否			○	○	◎	◎
福祉	社会福祉概論	M-SWS101	100	講義	4	子どもや高齢者、障害のある人などすべての人たちの尊厳が守られ、安心して生活できる地域や社会の創造に向けて社会福祉の果たす機能や役割など、基本的な知識を学修する。	社会福祉の概念や定義を理解する。その上で、社会福祉の様々な分野や関連する施策、制度、サービスについて理解を深めることができる。	社会福祉の概念、歴史的展開、権利擁護、社会福祉の理論、社会政策の基本的な視点、福祉サービスの供給と利用の過程	○	○		○	◎	
	子ども家庭福祉	M-SWS222	200	講義	4	子どもや家庭を取りまく地域や社会の現状を理解し、子どもが健やかに育ち、その尊厳と権利が守られる社会の実現に向けた子ども家庭福祉の全体を学修する。	子どもや家庭を取り巻く社会環境や、現代社会の子ども・子育て・子育てへの影響を理解できる。その上で、子ども、家庭への支援や施策、法制度などについて理解できる。	子どもの権利、子どもと家庭・地域、子ども・子育て支援の諸施策、児童虐待防止、社会的擁護、制度・サービス	◎	○				
	医療社会論	M-SOC311	300	講義	4	医療の社会的役割や影響力、またその変容について、さまざまな角度からクリティカルに考えていく。	医療社会論において論じられている具体的な事例について考えるための方法とスキルを身につける。	医療社会論、健康と病の経緯、病人役割、感染症と社会的排除、優生思想、専門家支配	◎	○				
心理	教育心理学	T-EDU110	100	講義	4	教育場面に関わる心理学として4つの柱(発達、学習、測定・評価、人格・臨床)を中心に学ぶ。教職必修科目である。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接すべきかについて理解を深めることができる。	生涯発達、学習・記憶、教育評価、知能指数、発達障害、カウンセリングマインド	○	◎				
	発達心理学	T-PSY101	100	講義	4	乳幼児期から老年期のこころと身体発達、各時期で遭遇する問題とそれらへの対処法を学ぶ。	人間発達の特異性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理的特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○				
	対人関係論	M-PSY207	200	講義	4	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎		○			
	社会心理学	M-PSY202	200	講義	4	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎		○			

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツに関する知識やスキルを幅広く活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者としての求められる高い倫理的・創造的態度・論理的思考力を有している	
学 科 間 共 通 専 門 科 目	スポーツの歴史と文化	M-SOC209	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに浸透されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とのように融合してスポーツが展開してきたのかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	スポーツ、遊び、祝祭、歴史、日本近代史、日本現代史、社会史、近代化、社会変動、社会構造、文化、規範、価値意識。					○	◎	
	スポーツ心理学Ⅰ	M-HES112	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようになる。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の変容、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床		◎			◎	○	○
	スポーツ心理学Ⅱ	M-HES240	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のバーンアウト、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動とスポーツと心理の関連について幅広く取り上げて学修する。	スポーツの心理学的な理解を通じて、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる素地をつくる。	運動学習、スポーツと発達、モチベーション、運動による健康の増進、心理サポート				○	◎	◎	○
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニストレーターの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医学、指導者		◎			◎	○	○
	スポーツ産業論	M-HES248	200	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業(事業戦略、マーケティング)、生産、販売促進、営業(販売)活動)における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はMSZ/株式会社各部門の担当者とスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション			○	○	◎		○
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入門」(「English comprehension II」および「Communication Basic II」)で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニストレーターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身に付け、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身につける。	スポーツ・アドミニストレーション、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、UNIVAS		◎		○	◎	○	
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の変革の方法を学修し、生活の質(QOL)の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科学的な情報を適切に咀嚼し、望ましい生き方、生活習慣に修正していく積極的な姿勢を持つことができる。 2. 身体に高い関心を持ち、より客観的に自分の日常生活を評価(現在の自分の状態に気づき)、見直しができる。 3. 生涯スポーツとヘルスプロモーションについて学び、地域社会に貢献できる能力を身につける。	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウエイコントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎	○		○	○		
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見を持ち実際の企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり			○		◎	○	
	バラスポーツ論	M-HES358	300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人々によって行われているバラスポーツの実態について学ぶ。また、障がいの者のスポーツ活動に伴う様々な問題点をスポーツの特性と社会的な視点を絡めて考察する。さらに複数のバラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人のスポーツ活動を指導、支援する資質を習得することを目的とする。 ※担当教員は身体障害者のリハビリテーションセンターと精神科病院の双方で、運動療法やレクリエーション指導の経験を持つ。その実務経験を通	・多様な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。 ・バラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。 ・障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。 ・バラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行う資質を養う。	障がい者スポーツ・ノーマライゼーション、多様性バラスポーツ実習		○				○	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範かつ実用的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的課題思考力を有している。
キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(15回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○	
	人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ(30回相当の授業)。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別		◎	○	○	○	
教職系	身体づくり運動 (保体教職)	M-EDU206	200	実技	2	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生を対象とし、授業者および学習者の両視点から実技授業を作って、教えて、学ぶ。	指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進めることができる。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング		◎	○	○	○	○
	学校インターンシップ I	M-EDU207	200	実習	2	実地活動を通じて学校現場や教師の仕事の実際に触れ、自己の適性や教職生としてこれらに必要な学び、身に付けなければならない課題(知識・技術)等の理解と自覚を促すとともに、履修者の教職に対するモチベーションを高めることを本科目の目的とする。	1:児童生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握している。2:年間を通して担当教員等の補助的な役割を担うことで、学校現場の実態を広く理解している。3:体験的な活動を通して、教職への自己の適性や今後必要な知識・技術等への課題を自覚している。	実地体験型の学修 自己適性への省察 現代の子どもの理解		○		◎	○	
	学校インターンシップ II	M-EDU308	300	実習	2	学校現場での実地活動を経験し、学習指導、生徒指導、学級経営等の実際をより深く理解させる。あわせて教育実習に臨む意欲や態度を培うとともに、教育実習実施までに修得すべき知識・技能等の自己課題を自覚させることを本科目の目的とする。	1:学習指導に必要な基礎的知識・技術等を実地に即して身に付けている。2:適切な場面におけるICT機器の活用などの実地活動を理解している。3:特別な配慮を要する子どもへの指導等について、体験を通して理解している。4:学級担任の役割や職務内容等を実地に即して理解している。	実地体験型の学修 教職へのモチベーションの向上 学校現場全般の基礎的実践知識の修得		○			◎	○
	学校インターンシップ III	M-EDU402	400	実習	2	大学で学んだ教科や教職に関する専門的知識・理論・技術等(教育実習での成果・課題を含む)と実地活動での体験を往還的に結び付け、教員として必要とされる必要最良の力量を形成する。あわせて、大学卒業後、教員として遵守すべき職務や学校実務を忠実に即してより深く理解するとともに、積極的に社会に参画する意欲・態度等を培うことを本科目の目的とする。	1:教科に関する最新の知識や教授方法等を修得し、学校現場での活用等について理解している。2:教員の使命や役割、遵守すべき法令等を深く理解している。3:専門的職業人として積極的に社会に参画する意欲や態度が身に付いている。	実地体験型の学修 学校現場全般への応用的実践知識の修得 学問と実践知識の往還を通じた確かな教員像の確立			○	○		◎
スポーツ	スポーツ哲学	M-HES219	200	講義	2	「体育とは何か」および「スポーツとは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにすることを目指す。	前半は体育の人間存在にのつての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的可能性、現代の問題点を把握できる。	体育概念、関係性、重層性、超越性、文化論、スポーツ構造論		◎	○	○	○	
	体育史	M-HES220	200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を解説する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解し、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制下の体育・スポーツ		◎	○	○	○	
	スポーツ技術・戦術論	M-HES213	200	講義	2	試合やトレーニングで活躍するために、専門家のオムニバスの講義から技術や戦術・戦略を学ぶ。	様々な競技種目の①構造や現状の理解②多角的な視点からの考察③活躍するための知識や技術の習得する。	競技種目・オムニバス講義、技術・戦術・戦略・構造、現状		◎	○	○	○	○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティロマトリシ					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを広範かつ実用的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理的・創造的・思考力を有している。
応用スポーツ医学ⅠA	M-HES245	200	講義	2	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について学修する。	現在の運動疫学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について習得する。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症		◎	○	○	○		
応用スポーツ医学ⅠB	M-HES246	200	講義	2	生活習慣病予防と運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について解説する。また、運動実施による内科的障害や外科的障害の内容とその対処法について解説する。	幅広い年代の健康づくりのための運動の実践やハイリスク者を対象とする安全な運動指導に関する幅広い知識の理解。また、生化学検査結果の見方理解できる。	糖尿病、ロコモティブシンドローム、健診結果の読み方、内科的障害、外科的障害、虚血性心疾患、運動器進行性疾患		◎	○	○	○		
健康運動実習Ⅰ	M-SPE309	300	実習	1	健康づくりのための運動に用いられる種目の理論に基づいたプログラムの作成、指導技術を学修する。	幅広い年代の健康づくりに関わる運動指導者にとって、運動や身体活動に関する国の政策や理論だけでなく、高齢者やハイリスクグループを対象とする安全な運動指導のためには、生活習慣病の幅広い知識が必要不可欠である。本実習では、これらの基礎知識を習得するとともに、運動指導の効果についても学習する。これらの理論的な背景に基づき、健康運動指導士として指導技術を実践できる能力を養成する。	ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチング、ウォーキング、ジョギング、理論に基づいた運動プログラムの作成		◎	○	○	○		
エアロビクスⅠ	M-SPE218	200	実技	2	エアロビクダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクダンスのコンディショニングとして用いられるレジスタンストレーニング(自重負荷)とストレッチングの名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。また、実技指導の技術について学び、指導力を身につける。	レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術				○	○	◎	
エアロビクスⅡ	M-SPE308	300	実技	2	エアロビクダンスのクラスで行う基本的な指導技術を学修し、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクダンスの基本的なステップ名称と動き方を理解し、正確に実演できるように運動技能を養成する。	エアロビクダンス、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術				○	○	◎	
救急・応急処置	M-HES343	300	講義	2	集団が集まる場所で発生する事故や病状に対処する救急・応急処置の知識と実践を学修することを目的とする。	急性障害や急性疾患に対する対応と処置の仕方、及び一次救命処置についての理解と実践を身につける。また、現場における救急対応計画について理解できる。	心肺蘇生法、AEDによる除細動、気道異物除去、三角巾による固定法、頭頸部外傷への対応、搬送法	○			○		◎	
運動機能解剖学Ⅰ	M-HES108	100	講義	2	人体の主要な骨や骨、関節の各名称を覚え、それぞれがどのような動きを可能にしているかについて学修する。	人体の主要な骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間がどのようにして動きをコントロールしているか理解できる。			◎		○		○	
運動機能解剖学Ⅱ	M-HES234	200	講義	2	運動機能解剖学Ⅰの知識レベルを前提として、人体の骨や骨、関節の各名称を覚えるとともに、頭部の筋・骨格、さらに神経系の基礎知識を加えて展開していく。	人体の骨、筋肉、および関節の名称と位置について暗記し、人間の実際の動作中にそれぞれがどのように関与しているか理解することが出来る。			◎		○		○	
スポーツ生理学Ⅰ	M-HES114	100	講義	2	スポーツ・運動を遂行する時のからだの一時的变化やスポーツ・運動の継続で適応するからだの変化について、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環器、内分泌、免疫、環境などから講述すると共に、運動の強さや時間と酸素摂取量の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行で起こる一時的变化や継続による適応機能を脳神経系・筋系、エネルギー代謝系、呼吸・循環系、内分泌系、免疫系などの生理機能面から理解し、さまざまなトレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ運動の一時的变化、スポーツ運動の適応、脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環器、内分泌、免疫、体温の変化	○	◎	◎	○			

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
						授業科目で何を目的に学べし、どのような内容の理解を担うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを応用した指導方法を体系的に身に付け、多様な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・健康に関する知識やスキルを応用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指針者としての求められる高い倫理的・創造的・思考力を有している。
	スポーツ生理学Ⅱ	M-HES242	200	講義	2	脳神経、筋肉、エネルギー代謝、呼吸・循環、内分泌、免疫、環境などの生理的機能についてスポーツ生理学Ⅰで教授できなかった内容をより詳細に講述し、これらの生理的機能と運動技能習熟やトレーニング適応の関係を学修する。	スポーツ・運動遂行に関する脳神経、筋肉、呼吸・循環、エネルギー代謝、内分泌、免疫、環境などの生理的機能、運動技能習熟やトレーニング適応の順序をより詳細に理解し、各種スポーツ・トレーニングに応用できる能力を養うことができる。	スポーツ運動遂行、神経・筋機能や感覚機能、呼吸・循環機能、排泄機能、エネルギー代謝、内分泌機能、スラッシュ運動習熟、ポイントトレーニング適応	○	◎	◎	○		
	スポーツ栄養学Ⅰ	M-HES113	100	講義	2	食事・栄養の基礎を学んだうえで、スポーツと食事・栄養の関係、消化と吸収、スポーツ選手の身体組成・体格について学習する。また、競技特性に応じたトレーニング時の栄養補給法、試合や合宿時の栄養補給法、サプリメントやエルゴジェニックの摂取法について学修する。	1) 栄養素や食品、食事の基礎知識を習得し、身体活動量に応じた適切な摂取ができていくか評価できる。 2) 期分け(トレーニング期、試合期、合宿期、オフ等)に応じた適切な栄養摂取法が理解できる。 3) サプリメントやエルゴジェニックの正しい知識を身につけ、必要性の有無を確認したうえで、適切に選択できる。	スポーツと栄養・食事、消化吸収、競技特性別の栄養補給法、補食とリカバリー、サプリメント・エルゴジェニック			◎	◎		○
	スポーツ栄養学Ⅱ	M-HES241	200	講義	2	スポーツにおける生理学的変化をふまえ、スポーツ選手が抱える問題(貧血、骨障害、摂食障害、月経障害、特殊環境下、増量と減量)について、その原因と評価、食事法を学ぶ。また、最前線のスポーツ栄養に関するエビデンスや栄養マネジメントについて学ぶ。加えて、健康のためにスポーツを行っている小児期から高齢者までのライフステージ別の栄養と身体活動に関する現状・課題と健康増進のための対策について学修する。	1) スポーツ選手が陥りやすい問題とその対処法について理解・説明できる。 2) スポーツ栄養マネジメントについて説明できる。 3) 小児期から高齢者に至るまでの食事と運動に関する問題点とその対処法を説明できる。	スポーツと貧血、スポーツと骨、スポーツと月経障害、摂食障害、書熱環境下のスポーツ、スポーツ選手の増量・減量、栄養マネジメント、ライフステージごとの食事と運動			◎	◎		○
	スポーツ社会学Ⅰ	M-SOC101	100	講義	2	スポーツを様々な視点から捉え、基礎となる構造や現状、技術を学習し、特徴と意義を理解する。	スポーツの基本的構造や現状を理解し、社会的に考察できる。以後の学習に繋げる知識や技術を得る。	スポーツの歴史、スポーツの意義、スポーツの特徴、社会の中のスポーツ	◎	○			○	○
	スポーツ社会学ⅡA	M-SOC210	200	講義	2	スポーツが社会の多様な要素とどのように影響を及ぼし合いながら社会の中に位置しているのかを、主にオリンピックを事例として学修する。	スポーツ、とりわけオリンピックについて、一般的な「良いイメージ」にとらわれず、それと社会の関係、課題等を理解できる。	オリンピックの理念、オリンピックと国家、オリンピックとビジネス、オリンピックと政治		○			○	◎
	スポーツ社会学ⅡB	M-SOC211	200	講義	2	社会におけるスポーツの現状や多様な問題について、それらが社会の多様な要素とどのように関連しているのかについて学修する。	スポーツにおける多様な現象と問題点について、スポーツそれ自体のみに原因を求めるとはならず、社会の要素と関連付けて理解できる。	スポーツとジェンダー、スポーツのグローバル化、スポーツと暴力、キャリア形成		○			○	◎
	生涯スポーツ論	M-SOC212	200	講義	2	生涯スポーツの歴史や社会的背景、意義、また具体的な政策やイベントを学ぶことにより、健康で豊かなライフサイクルを送るための基礎知識を得る。	生涯スポーツの基本的な考え方や理論を理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。加えて、将来スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本計画、生涯スポーツ社会の実現、生涯スポーツの歴史、政策、イベント		○		◎	○	○
	野外教育論	M-HES224	200	講義	2	野外教育や野外活動において、安全に楽しむための基礎的知識や指導法について学修する。	野外教育の概念と目的および歴史を理解した上で、実際に野外キャンプを行う際に指導者として必要な安全管理、効果的な指導方法を身につける。	人間と自然の関わり、野外教育の歴史、キャンプ、キャンプカウンセリング、アイズプレイング、ゲームアクティビティ		○	○		○	
	レクリエーション論	M-HES225	200	講義	2	レクリエーションの意義と重要性、支援者としての具体的な効果的な実践方法を学修する。	学校、地域、福祉施設などの場でレクリエーションを実施する力、事業を計画する力を身につける。	レクリエーションの意義、支援者の態度・テクニック、アクティビティの選択、ハードルの設定、アイズプレイング、		◎	○		◎	

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を担うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を円滑に行うことができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを幅広く活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の日常生活の中で健康及びスポーツが精神・文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者としての求められる高い倫理観や創造的課題・論理的思考力を有している	
スポーツ理論専門科目	スポーツトレーニング論Ⅰ	M-HES243	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とします。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる。	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力		◎	○				◎
	スポーツトレーニング論Ⅱ	M-HES244	200	講義	2	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮して、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学びます。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようにする。	競技特性、ピーキング、ジュニア、アスレティックトレーニング		◎	○				◎
	コンディショニング演習	M-HES354	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成、実践することを通じて、指導に必要な実践能力を学修する。	・基本的なエクササイズの手順がわかる。 ・各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズの手順、競技特性、測定評価				○	○	○	◎
	衛生・公衆衛生学	M-HES304	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学修する。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健					○	◎	
	健康管理論	M-HES357	300	講義	2	健康管理に関する基礎的・実践的な理論・方法を修得し、実践の活用に関する能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基礎的理論・仕組みについて学修する。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的内容・方法について学修する。 ・健康管理の基礎的・実践的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践の活用に関する能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子		◎	○				
	スポーツ政策	M-HES326	300	講義	2	わが国のスポーツ政策を中心として、スポーツ環境の現状と課題におけるスポーツ政策の意義や役割について学修する。	スポーツ政策の基本的な変遷や財源、組織等について理解し、スポーツ界の現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ界で活躍できる知識を得る。	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ振興政策、海外のスポーツ政策、地域	○	◎			◎	○	
	健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価			◎	○	◎	○	
	応用スポーツ医学Ⅱ（含実習）	M-HES353	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生体的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置		◎			○	○	
	エアロビクスⅢ	M-SPE402	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクスやコンディショニングトレーニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手本をみせる、キューイング、指導技術の向上			○		◎	○	◎

人間スポーツ学

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを幅広く活用し、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを幅広く活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身につけている。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神、文化、集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる力を持っている。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者としての求められる高い倫理観や創造的課題・論理的思考力を有している。
スポーツ 実技 専門 科目	スポーツ科学実習：陸上競技	M-SPE217	200	実技	1	様々な陸上競技の種目を実際に行い、その特性、ルールを学修する。	陸上競技の各種目のコツをつかみ、一定の水準の記録に到達できる。また、安全に競技を遂行し、サポートする能力を身につけることができる。	100m走、走高跳、ハードル、リレー		◎		○		○
	スポーツ科学実習：サッカー初級	M-SPE206	200	実技	1	個人の技術練習を中心に、そこで習得した技術を試合の中で発揮することができるようにするための学修をする。	個人技術を向上させるとともに、チームスポーツとしてのサッカーの技術や戦術を習得できる。	サッカー技術・戦術・戦略・チームスポーツ・試合		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：サッカー中級	M-SPE207	200	実技	1	個人から、グループ戦術へと発展させ、グループでの攻撃と守備を学ぶ。	攻撃で数的優位を作りゴールを奪い、守備は相手にスペースを与えずボールを奪える。	サッカー・個人技術・グループ戦術・攻撃・守備・戦略		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ダンス	M-SPE211	200	実技	1	教育現場でダンスの授業を指導できるように、いろいろなジャンルに合わせたダンスの基礎、表現方法を学ぶ。	教育現場で体育の指導者として生徒の前で踊って見せられるくらいまでの基礎的技術を体得できる。	リラクゼーション、リズム練習、ステップ、身体表現、動きのバリエーション、創作ダンス		◎		○		○
	スポーツ科学実習：器械体操	M-SPE204	200	実技	1	マット、鉄棒、とび箱の各運動の基本的な技の習得を目指すとともに、段階的指導方法や練習方法を理解し、実践する。	運動構造を理解・実践し、指導できる域に達することが必要である。同時に、授業の進め方、展開方法をも習得できる。	マット運動、鉄棒、跳び箱、回転感覚、空間認知能力、逆さ感覚、巧緻性、身体認識力		◎		○		○
	スポーツ科学実習：バスケットボール	M-SPE213	200	実技	1	バスケットボールの技術構造やルールを理解し、集団的技術や個人的技能を獲得し、基礎的なゲーム展開の方法を実習する。	・技術の構造とルールの理解 ・集団技能や個人技能の実践 ・ファンダメンタルの実践と理解 ・ボールゲーム、チームスポーツの理解	チームスポーツ、ボールゲーム、技術構造、ルール、個人戦術、集団戦術		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：バレーボール	M-SPE214	200	実技	1	個人の基本的技能を身につける。ルールの理解、協調性を養う、バレーボールの特性や楽しさを体験する。	生涯スポーツの基盤づくり、スポーツの意義の認識、目標や課題の設定、ルールの理解およびゲーム方法の工夫、スポーツの楽しさを体得、基本的技術の獲得ができる。	バレーボールの特性・楽しさ、技能、ルール、ゲームの工夫、生涯スポーツ		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ソフトボール	M-SPE210	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学習する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを実践する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦術・知識		◎		○	○	○
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	M-SPE205	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーについても、指導する。	ショットやパッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エチケット、ゴルフクラブ、ショット、パッティング		◎		○		○

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ティプロマポリシー					
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
									スポーツおよび健康についての幅広い教養を身に付けている。	スポーツ・体育・健康に関する基礎的・専門的知識やそれらを活用した指導方法を体系的に身に付け、多様な特性をもつ様々な人々に対して適切な働きかけができる。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、人間とスポーツとの関係を理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを応用し、社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる。	人間の実生活の中で健康及びスポーツが精神・文化・集団・社会に与えるメカニズムを理解し、隣接する領域と協働しながらグローバルな視点から問題に対応することができる。	健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、スポーツ・運動指導者として求められる高い倫理観や創造的的思考力を有している。
スポーツ科学実習：柔道初級	M-SPE208	200	実技	1	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導法を修得するための学習をする。	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができる。	柔道衣の着方、礼法、受け技		◎		○			○
スポーツ科学実習：水泳	M-SPE209	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得。また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳指導法と実証的指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養うことができる。	4泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ		○	○	◎			
スポーツ科学実習：野球初級	M-SPE216	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として授業を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合う心を養うことができる。	心・技・体、公德心		◎		○	○		○
スポーツ科学実習：テニス初級	M-SPE212	200	実技	1	On Courtの授業では、基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの教え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスのマナーなどを習得する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身に付ける。テニスのルール、マナー、テニス界の現状、歴史を学び、テニスを通しての外交ができ、テニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー		◎		○			○
夏期野外実習	M-SPE202	200	実技	1	キャンプを安全に実施するための知識と技術を身につけ、小集団活動を通じて良好な人間関係を築くための要点を学び、一人ひとりが「良きキャンパー」となるための学習を行う。	1. キャンプを実施する上で必要となる基礎知識及び技術の習得、2. 共同生活の中で、望ましい人間関係を築く、3. 組織キャンプにおいて、生活班の指導ができる。	テントの設置、野外調理、水辺野外活動、キャンプファイヤー、人間関係を作るグループワークゲーム、自然を感じる野外ゲーム		◎		○	○		○
冬期野外実習	M-SPE307	300	実習	1	スキーの技能を習得すると共に、技術体系や指導法、安全対策など、冬期野外活動の実践に必要な知識を学ぶ。	スキー技能の向上と技術体系を理解し、共同生活の中で、望ましい人間関係を築くことができる。	スキー技術体系、技能講習、安全対策、集団生活、クロスカントリー		◎		○			○
実技指導実践	M-SPE310	300	実習	1	将来、保健・体育教諭や社会体育系企業への就職を希望する者を対象に、器械運動、ダンス、陸上競技、球技(バスケットボール、バレーボール、サッカー)、武道(柔道、剣道)の各競技の実践能力を高めるとともに、指導方法や安全面の配慮等を学習し、それぞれの現場で役にたつ人材の育成を図る。	教員採用試験(実技)や社会体育系企業の実技試験において、優秀な評価を得られること、あわせてその進路に進んだのちに、適切な指導ができる技能・技術や知識を獲得することを目標とする。	保健体育教師、スポーツ指導員、資質能力、よい指導				◎	○		○